

# もも・ネクタリン特報

No. ④

R2. 4. 17  
J A 中野市営農センター  
J A 中野市りんご・もも部会

この特報は、3/30 発行の「もも・ネクタリン特報No.③」の薬剤散布（散布目安は、4/24～4/30 頃）が終わってから行なう防除を掲載しています。特報No.③の内容を再度、ご確認ください。

## 【生育状況】 白鳳（平岡調査地点）

開花は4/15頃で、昨年よりも5日程度進んでいる状況です。（平年比-6日程度）

品種間差や地域差がありますので、園内の生育状況をよく確認し、適期防除と管理作業を進めましょう。

年 度	平 年	H 2 9	H 3 0	R 1	本 年 (R2)
満 開	4/25	4/24	4/17	4/24	4/20頃?
落 花	5/3	5/3	4/25	5/3	4/28頃?

## ●第4回 定期散布（ももとネクタリンを混植している場合は、裏面のネクタリン防除を実施下さい。）

\*薬液が枝にしっかりかかるよう、丁寧に散布する。 \*収穫中の作物等へ飛散しないよう、十分注意する

も も

アグレプト水和剤等は「ぶどう」に種なし果を生じるため、飛散しないよう散布する

散布時期 落花10日後（第3回定期散布から10日後）

・散布日の目安：5月5日～10日

散布日 5月 日

散布量 ㍓

散布薬剤 水 100㍓当り

展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ

劇モスピラン顆粒水溶剤 25g （収穫前日まで、3回以内）

ストロビードライフフロアブル 50g （収穫前日まで、3回以内）

アグレプト水和剤 100g （収穫60日前まで、2回以内）

散布量 10アール当り 400㍓

混用順 水 ⇒ 展着剤 ⇒ モスピラン ⇒ ストロビー ⇒ アグレプト

対象病害虫 せん孔細菌病、黒星病、灰星病、うどんこ病、  
アブラムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類

## 【注意事項】

- ① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。ご購入の際は「印鑑」をご持参下さい。
- ② せん孔細菌病 発生園は、展着剤にアビオンEの1,000倍を使用する。（KKステッカーの3,000倍でも良い）
- ③ 極早生種（たまき・赤宝等）は、アグレプト水和剤等の収穫前規制『収穫60日前まで』に注意する。  
⇒ 対策・・・アグレプト水和剤等に代えてマイコシールドの1,500倍（21日前、5回）を使用する。
- ④ アグレプト水和剤に代えて、ストマイ液剤20の1,000倍またはアグリマイシン100の1,500倍を使用しても良い。
- ⑤ アグレプト水和剤（液剤）、ストマイ液剤20、アグリマイシン100等の使用回数は、合計で2回までとする。
- ⑥ カイガラムシ類 発生園は、アプロードフロアブルの1,000倍（14日前、3回）を加用する。

次ページに、ネクタリンの防除、管理作業について掲載しております。

# ネクタリン

**散布時期** 落花10日後（第3回定期散布から10日後）  
・散布日の目安：5月5日～10日

散布日	5月	日
散布量		リットル

**散布薬剤** 水 100リットル当たり

展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
劇モスピラン顆粒水溶剤	25g	（収穫3日前まで、3回以内）
トレノックスフロアブル	200ml	（収穫30日前まで、5回以内）
マイコシールド	66g	（収穫28日前まで、5回以内）

**散布量** 10アール当たり 400リットル

**混用順** 水 ⇒ 展着剤 ⇒ モスピラン ⇒ トレノックス ⇒ マイコシールド

**対象病害虫** せん孔細菌病、黒星病、灰星病  
アブラムシ類、モモハモグリガ、カメムシ類、カイガラムシ類幼虫

## 【注意事項】

- ① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。ご購入の際は「印鑑」をご持参下さい。
- ② せん孔細菌病 発生園は、展着剤にアビオンEの1,000倍を使用する。（KKステッカーの3,000倍でも良い）
- ③ もも混植園で、うどんこ病 発生園は、ストロビードライフフロアブルの2,000倍（前日、3回）を加用する。
- ④ アグレプト水和剤（液剤）、アグリマイシン100、ストマイ液剤20等は、ネクタリンに登録がないため使用できません。
- ⑤ カイガラムシ類 発生園は、アプロードフロアブルの1,000倍（7日前、2回）を加用する。

## ●摘花

摘蕾が間に合わなかった場合は、摘花を実施し着果制限する。（特に、結実の良好な品種。要領は摘蕾と同様）

## ●せん孔細菌病 春型枝病斑の除去

昨年、せん孔細菌病が発生した園地は、開花期から5月末まで枝病斑の除去を必ず実施する。

## ●予備摘果

- ① 時期：満開から30日後までに実施する。
- ② 方法：結果枝中央部の側方か下方の葉がある部分の果実を残す。短果枝は先端部を残す。  
上向きの果実は摘む。また、骨格枝上や結果枝基部の果実は摘む。
- ③ 注意：結実の良い品種から実施する。  
川中島白桃など花粉のない品種で結実不足が心配される場合は、結実が判明してから実施する。

結果枝	残す果実数
長果枝（30cm以上）	2～3個
中果枝（10cm～30cm）	1～2個
短果枝（10cm未満）	0～1個

（果樹指導指針より）

もも 結果枝別着果量の目安

次回特報 発行予定日：4/30

【もも・ネクタリン特報 No.⑤】

内容：第5回 薬剤散布 他

散布日：5/15～20頃

もも・ネク共通

トレノックスF、ハチハチF、マイコシールド